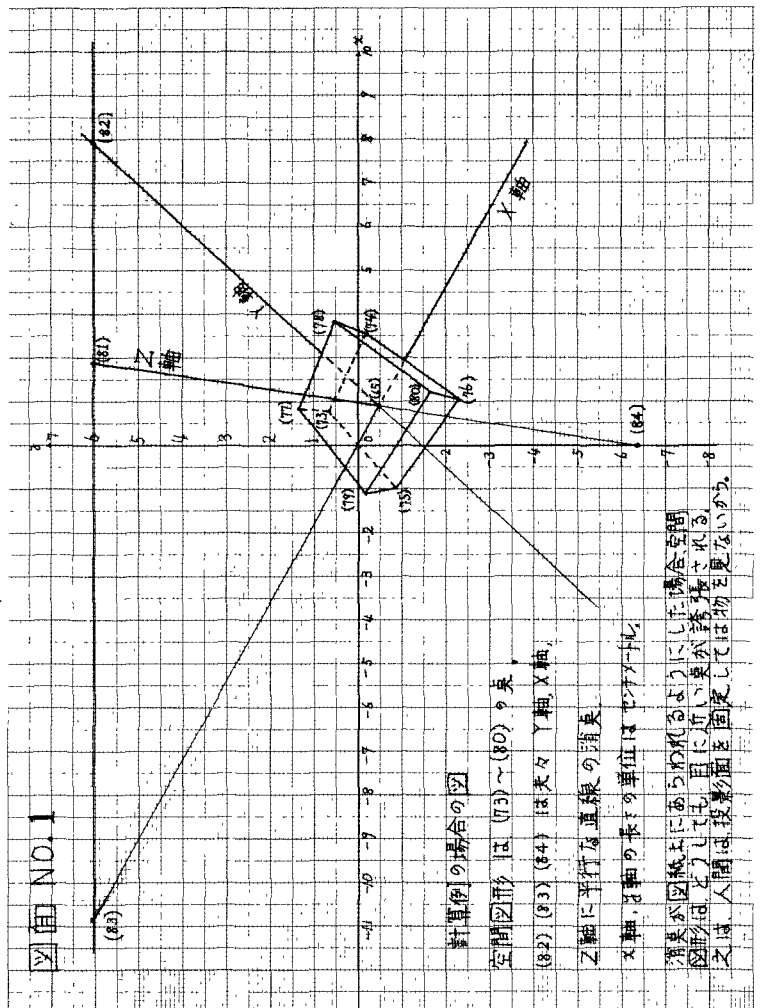
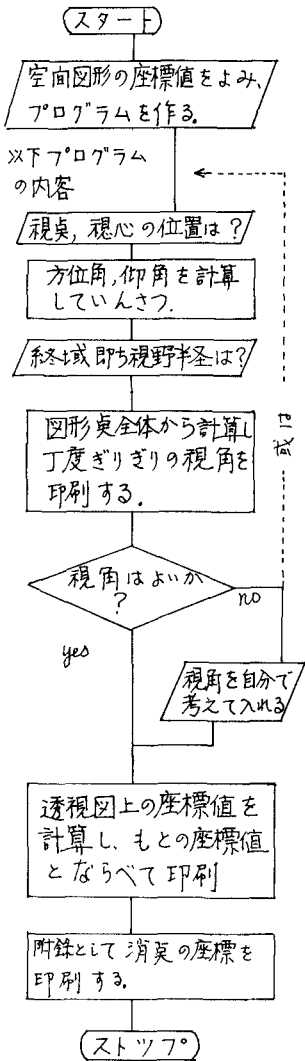


1. 土量計算に当り、まず地形図から透視図を作ることにした。地形図上にとつた格子点の座標値(X,Y,Z)を目でよみ、プログラム付電卓により座標値を印刷させる処理をする。この場合、土木学会発行の「製図の書き方」のP84の計算式を用いた。このプログラムでは、一度条件をあたえれば、仮図面による視角の計算をしなくてもよいようにしてある。

2. 条件が、視点、視心の座標値及び画面の大きさの場合、流れ図で示す。



3. 簡単な計算例を次頁に示す。第1図はその結果をかいたものである。長さの単位はメートル、角度は度。

[illegible]

- 250 -